



一宮市民局

問 新市長に問う

答 現地解決型市民局に

希望を



小林 健志

問

「現地解決型市民局」  
 具体的にはどういった事を  
 解決するべきか。市民局と市  
 民との距離を感じているとある  
 が、どうやって近づけていくの  
 か。厳しい財政状況について、  
 事務事業の見直しをとあるが、  
 庁舎建設の関係業者が倒産され  
 穴業の業者が損害を被っている。  
 業者選択等について市の対応は、

市長

し尿処理問題の解決方法につ  
 いて。以上、市長の考えを伺う。  
 それぞれの特性を  
 活かした地域づくり、

相談業務、福祉のあり方を充実  
 させることにより、現地解決型  
 市民局になると考える。市民  
 局に行けば情報が得られいろん  
 な事が解決できるという希望を  
 実現させることであると考える。

会社の経営状況を把握しなが  
 ら慎重に選んでいきたい。刑  
 事事件としては警察にお任せを  
 し、行政としては住民への説明  
 責任、被害に対してどう対処す  
 るのか調査報告を検証しなが  
 らもう一度検討するべくプロジェ  
 クトチームを立ち上げる。

総務部長

民事再生法等  
 の法律的な事もあ  
 るので、債権を持つている方に  
 ついては希望があれば市の顧問  
 弁護士を紹介しながら、共に協  
 議を重ねより良い方へ進むよう  
 に努力したい。

中山間地域は、少子高齢  
 化が進み、寂しい状況にあ  
 る。働く場所の確保や、若者が  
 集まって来る場所が求められて  
 いる。アウトレットモール等、  
 企業誘致や、大学、専門学校等  
 の誘致は考えられないか。

問

不安な社会情勢の中、  
 企業誘致は過去にも増  
 して困難を極めている。現時点  
 では、離職を余儀なくされた方々  
 の、緊急雇用対策が先決である  
 が、過疎化が進む本市では、地  
 域力高揚の為、企業誘致や、大

市長

65才以上が50%を越  
 す限界集落は4集落、  
 50才以上が50%を越す準限界集  
 落は、31集落ある。連絡網、交  
 通網共、十分とは言えない。連  
 絡網については、現在、地域情  
 報通信基盤整備事業により、第  
 1期工事区域では、平成22年1  
 月より、残り区域でも平成23年  
 1月より、全市で音声お知らせ  
 装置が使用可能となる。又、交  
 通については、公共交通状況を  
 検証しながら、何が好ましいか、  
 検討を進めている。

市長

中山間地域は、少子高齢  
 化が進み、寂しい状況にあ  
 る。働く場所の確保や、若者が  
 集まって来る場所が求められて  
 いる。アウトレットモール等、  
 企業誘致や、大学、専門学校等  
 の誘致は考えられないか。

問 地域づくりについて

答 地域力の高揚を  
図りたい



實友 勉

学、専門学校を継続して誘致し  
 なければならぬと認識してい  
 る。

問

市内に限界集落は何集落  
 か、又高齢者の人達は不安  
 を抱いておられるが、連絡網や  
 交通網は十分か。



神戸三田アウトレットモール